

# 岡山県立倉敷南高等学校 CAN-DO リストの形での学習到達目標

## [卒業時の学習到達目標]

英語を使った実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況、相手の反応などを踏まえて、情報の概要や話し手や書き手の意図を的確に理解するとともに、自分の考えを適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

## [年次ごとの学習到達目標]

Basic Activity	入学初期	1 年次	2 年次	3 年次
Reading	日常生活の身近な話題で 150 語程度の英文について、辞書を使用して時間をかければ、概要を把握することができる。	教科書の題材や、社会性のある話題(学習者用に語彙を易しくした説明文、物語文など)に関する 150 語程度の英文を、数回読めば概要を把握することができる。	教科書の題材や、社会性のある話題(学習者用に語彙をやや易しくした説明文、物語文など)に関する 200 語程度の英文を、1 回読めば概要を把握することができる。	社会性に広がりや深みのある話題(学習者向けの説明文、物語文など)に関する英文を 130 WPM 程度で読んで、概要を把握することができる。
Listening	スピードに配慮して、ゆっくりはっきりと英語の指示をすればおよその内容を理解できる。	様々な話題(説明、評論、物語、随筆など)でまとまりのある平易な英文を、明瞭な言葉でゆっくり話されれば、概要を把握することができる。	様々な話題(説明、評論、物語、随筆など)でまとまりのある英文を、明瞭な言葉で話されれば、必要な情報を取捨選択することで、概要を把握することができる。	様々な話題(説明、評論、物語、随筆など)の英文を、明瞭な言葉で話されれば、概要を把握することができる。
Writing	英文を書く時の語順の原則(簡単なメッセージを書くレベルの文法)を、ほぼ理解して書くことができる。	日本語の内容(具体的で簡単な説明文など)を、時間をかければ英語で書くことができる。	日常生活の身近な話題(学習・体験した内容など)について、自分の考えを英語で書くことができる。	社会性のある話題(賛否が分かれる内容など)について、自分の考えを 100 語程度の英語で書くことができる。
Speaking (Interaction)	自分自身や家族・友人、身の回りの事柄について、基礎的な語彙を用いて、英語で質問をしたり、答えたりすることができる。	日常生活の身近な話題について、即興で意見や気持ちを伝え合うことができ、十分な支援があれば、ある程度知っている社会性のある話題について、意見を交換することができる。	日常生活の身近な話題や、ある程度知っている社会性のある話題について、一定の支援があれば、即興で課題の解決策を提案し合ったり、意見や気持ちを伝え合ったりすることができる。	ある程度知っている社会性のある話題について、資料を活用して、即興で意見や主張、課題の解決策などを効果的な理由や根拠とともに伝え合うことができる。
Speaking (Presentation)	自分自身や家族・友人、身の回りの事柄について、基礎的な語彙を用いて英語で話すことができる。また、基本的な単語を正確に発音することができる。	日常生活の身近な話題(個人の興味など)について、原稿を作成する際に十分な支援及び多くの準備時間があれば、自分の考えを英語で話すこと(スピーチ、効果的な表現法の使用など)ができる。	日常生活の身近な話題やある程度知っている社会性のある話題について、一定の支援及び準備の時間があれば、原稿や資料の準備をして、自分の考えを英語で話すことができる。	社会性のある話題(賛否が分かれる内容など)について、資料を活用して、意見や主張を効果的な理由や根拠とともに詳しく伝えるまとまりのある長さのスピーチやプレゼンテーションができる。
指標	CEFR A1 英検3級レベル	CEFR A2 英検準2級レベル	CEFR A2 英検準2級レベル CEFR B1 英検2級レベル	CEFR B1 英検2級レベル

## [英語コミュニケーション、論理・表現における Typical Activity]

Typical Activity	入学初期	英語コミュニケーションⅠ 論理・表現Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅱ	英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅲ
Dictogloss [Listening → Writing]	/	80 語程度の、内容が理解できた英文を 60% 以上再現することができる。	100 語程度の、内容が理解できた英文を 70% 以上再現することができる。	200 語程度の、内容が理解できた英文を 80% 以上再現することができる。また、100 語程度の初見の英文を 80% 以上再現できる。
Shadowing [Listening → Speaking(presentation)]	英文を見ずに、聞こえた内容をリピートすることができる。	100 語程度の、内容が理解できた英文を、付属の CD を使って 60% 以上シャドーイングできる。	200 語程度の、内容が理解できた英文を、付属の CD を使って 70% 以上シャドーイングできる。	350 語程度の、内容が理解できた英文を、付属の CD を使って 80% シャドーイングできる。また、社会的な話題や時事問題についてのテキストを、付属の CD を使って 80% 以上シャドーイングできる。
Story Retelling (based on Notes) [Reading / Listening → Speaking(interaction)]	読んだり聞いたりした英文の内容を理解し、トピックセンテンスを用いて、英語で聞き手に伝えることができる。	80 語程度の、内容が理解できた英文について、本文を見ることなく、自分のメモをもとに 60% 以上再現し、英語で聞き手に伝えることができる。	100 語程度の、内容が理解できた英文について、本文を見ることなく自分のメモをもとに 70% 以上再現し、聞き手に伝えることができる。また、初見のテキストについて、限られた時間内に効果的にメモを取り、要点を正確に英語で聞き手に伝えることができる。	200 語程度の、内容が理解できた英文について、本文を見ることなく自分のメモをもとに 80% 以上再現し、聞き手に伝えることができる。また、社会的な話題や時事問題についてのテキストについて、限られた時間内に効果的にメモを取り、要点を正確に英語で聞き手に伝えることができる。
Summary [Reading → Writing]	読んだ英文の内容について、英語または日本語で要約できる。	各パートの内容が理解できた後、各パラグラフについて、60 語程度の英語または 60 字程度の日本語で要約できる。	各パートについて、80 語程度の英語または 80 字程度の日本語で要約できる。	各パートの内容が理解できた後、テキストを 100 語程度の英語または 100 字程度の日本語で要約できる。また、社会的な話題や時事問題についてのテキストについて、内容が理解できた後、100 語程度の要約を日本語で書くことができる。

## [作成上の留意点]

- 全体として、英語の素材は、身近な話題や、日常生活に関わる話題から、社会性の高い話題へとステップアップしていき、社会性に広がりや深みを持たせる方向にしている。
- 英検各級の CEFR レベルについては、実用英語技能検定「各級における 4 技能総合 CEFR 算出範囲」を参考に設定している。
- 4 技能 5 領域[ Basic Activity ]の内容は、授業を基本に、普段の授業をこなしていれば、十分達成できるものになっている。
- Typical Activity [Dictogloss/Shadowing/Story Retelling/Summary] については、4 つの活動を通して総合的に Reading/Listening/Writing/Speaking の技能が向上できるよう、3 年間で段階的にスキルアップしていく。